

# 地元企業の景況 第103号

郡上市八幡町新町961番地  
八幡信用金庫  
総務部  
TEL(0575)65-3407  
FAX(0575)65-3914

## <業況判断>

### 業況2期連続改善も来期は悪化予想

#### I 今期(2020年10~12月期)

1. 今期の業況判断D.I.は▲43.4と前期(2020年7~9月期)▲53.3に比べ9.9ポイント改善。
2. 業種別では農業、サービス業、製造業、小売業で改善、不動産業、建設業は横ばいも、飲食業、卸売業で悪化となった。

#### II 来期(2021年1~3月期)

1. 来期の業況判断D.I.は▲60.0と今期▲43.4に比べ16.6ポイント悪化予想。
2. 業種別では不動産業で横ばいも、農業、サービス業、卸売業、建設業、飲食業、製造業、小売業で悪化予想。

業況判断図(業種ごとの業況を表情図で示しました。)

業種	時期	前期	今期	来期
		2020年 7月~9月	2020年 10月~12月	2021年 1月~3月
製造業				
卸売業				
小売業				
飲食業				
サービス業				
建設業				
不動産業				
農業				
全業種				

D.I.<▲30	▲30≤D.I.<▲15	▲15≤D.I.<0	0≤D.I.<15	15≤D.I.<30	30≤D.I.

## 調査概要

調査目的	郡上市・下呂市・高山市・大野郡白川村の当金庫取引先の景気動向
調査対象	当金庫取引先 231先 (郡上市206社 下呂市13社 高山市・大野郡白川村12社)
調査時期	2020年12月1日~12月31日
調査時点	2020年12月31日時点
回収状況	配付数 231先(うち回収数205先) 回収率 88.7%
調査項目	(1)業況判断 (2)売上高・受注額 (3)採算水準 (4)資金繰り (5)製品(商品)在庫 (6)設備投資 (7)経営上の問題点 (8)業況の回復時期
補足調査 参考資料	製造業、小売業の「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期との比較 有効求人倍率について
調査方法並び に注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート項目毎の増加(上昇・好転等)企業割合と減少(低下・悪化等)企業割合の差による数値判断…D.I.(ディフュージョン・インデックス)</li> <li>・数値のほかグラフも掲載致しました。</li> <li>・比率に関しては小数点第2位を四捨五入しております。</li> <li>・建設業に関しては、「売上、受注」項目において「受注」として別掲扱いとしております。</li> </ul>

# 1. 業況判断

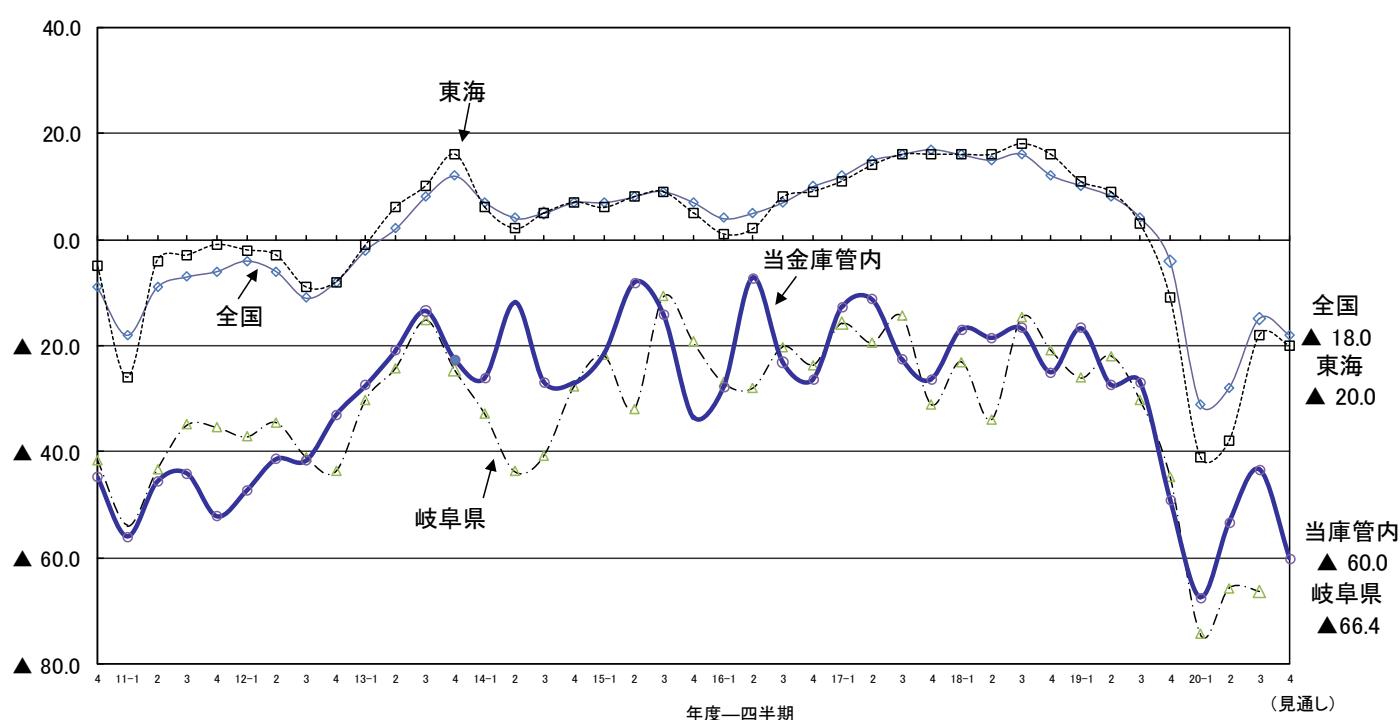
全業種の業況判断D.I. (良い-悪い) は、今期(2020年10月~12月期)▲43.4と前期(2020年7月~9月期)▲53.3に比べ9.9ポイント改善となりました。

業種別では農業、サービス業、製造業、小売業で改善、不動産業、建設業は横ばいも、飲食業、卸売業で悪化となりました。

来期(2021年1月~3月期)の業況判断見通しは▲60.0と今期に比べ、16.6ポイント悪化予想となっています。

業種別では不動産業で横ばい、農業、サービス業、卸売業、建設業、飲食業、製造業、小売業で悪化予想となっています。

業況判断D.I. (全業種)



(注)「全国」「東海」は日銀短観、「岐阜県」は株式会社日本政策金融公庫岐阜支店・多治見支店による。

## 業況判断

(%)

業種	2020年7月~9月(前期)				2020年10月~12月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I
製造業	12.2	16.3	71.4	▲59.2	16.4	27.3	56.4	▲40.0	9.1	27.3	63.6	▲54.5
卸売業	13.3	13.3	73.3	▲60.0	6.7	20.0	73.3	▲66.6	0.0	13.3	86.7	▲86.7
小売業	5.4	17.9	76.8	▲71.4	8.5	20.3	71.2	▲62.7	5.1	22.0	72.9	▲67.8
飲食業	14.3	28.6	57.1	▲42.8	7.7	15.4	76.9	▲69.2	0.0	15.4	84.6	▲84.6
サービス業	4.3	21.7	73.9	▲69.6	21.7	21.7	56.5	▲34.8	4.3	17.4	78.3	▲74.0
建設業	31.3	34.4	34.4	▲3.1	22.6	51.6	25.8	▲3.2	19.4	38.7	41.9	▲22.5
不動産業	25.0	25.0	50.0	▲25.0	0.0	80.0	20.0	▲20.0	0.0	80.0	20.0	▲20.0
農業	0.0	25.0	75.0	▲75.0	0.0	75.0	25.0	▲25.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0
全業種	12.7	21.3	66.0	▲53.3	13.7	29.3	57.1	▲43.4	7.3	25.4	67.3	▲60.0

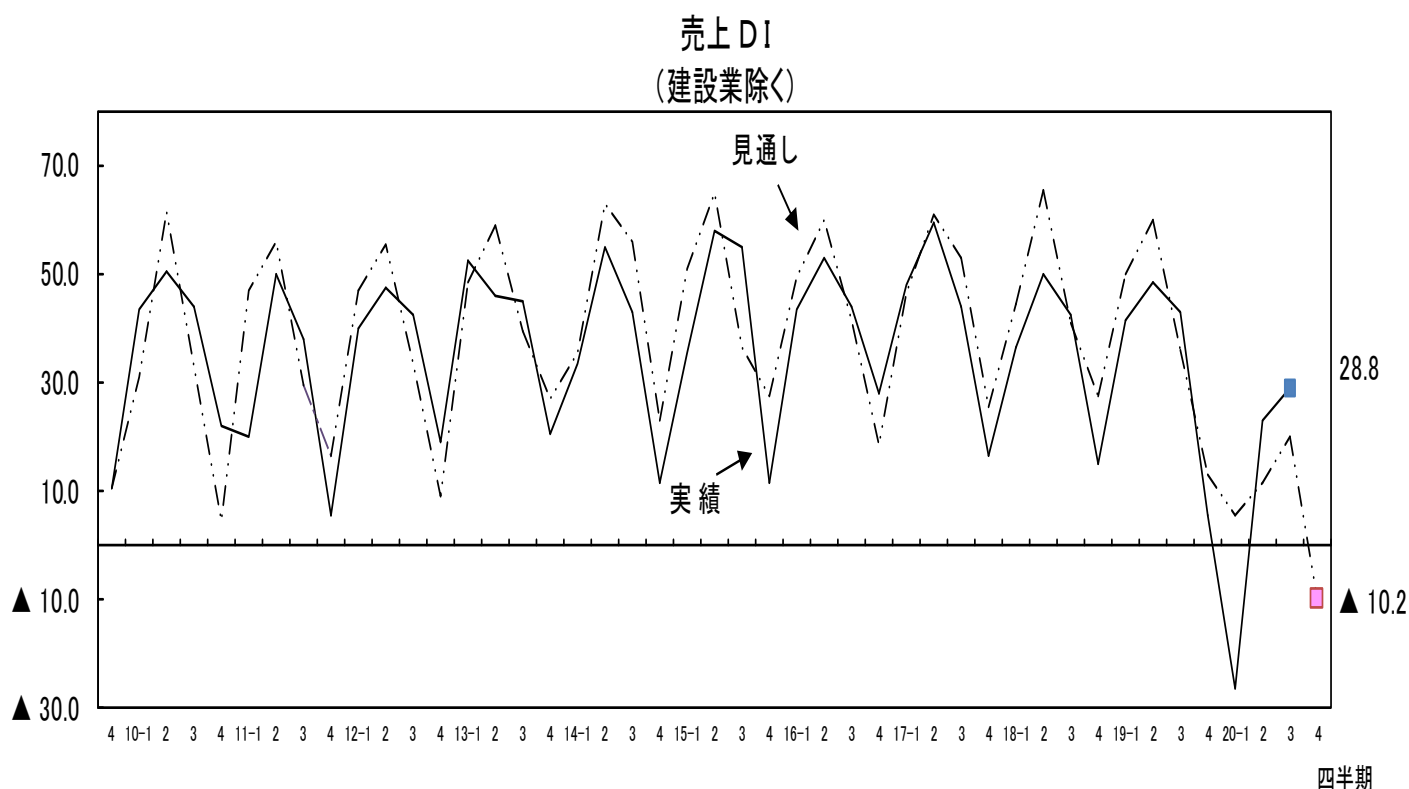
## 2. 売上・受注

### (1) 売上

建設業を除く売上額判断D. I. (増加-減少)は、今期28.8と前期22.8に比べ6.0ポイント改善となりました。業種別では、農業、サービス業、不動産業、卸売業で改善、製造業、小売業で横ばいも、飲食業で悪化となりました。

来期の見通しは、農業、卸売業、不動産業、サービス業、製造業、飲食業、小売業で悪化予想となっています。

全体での予想売上判断D. I.は▲10.2と今期に比べ39.0ポイント悪化予想となっています。



### 売上

(%)

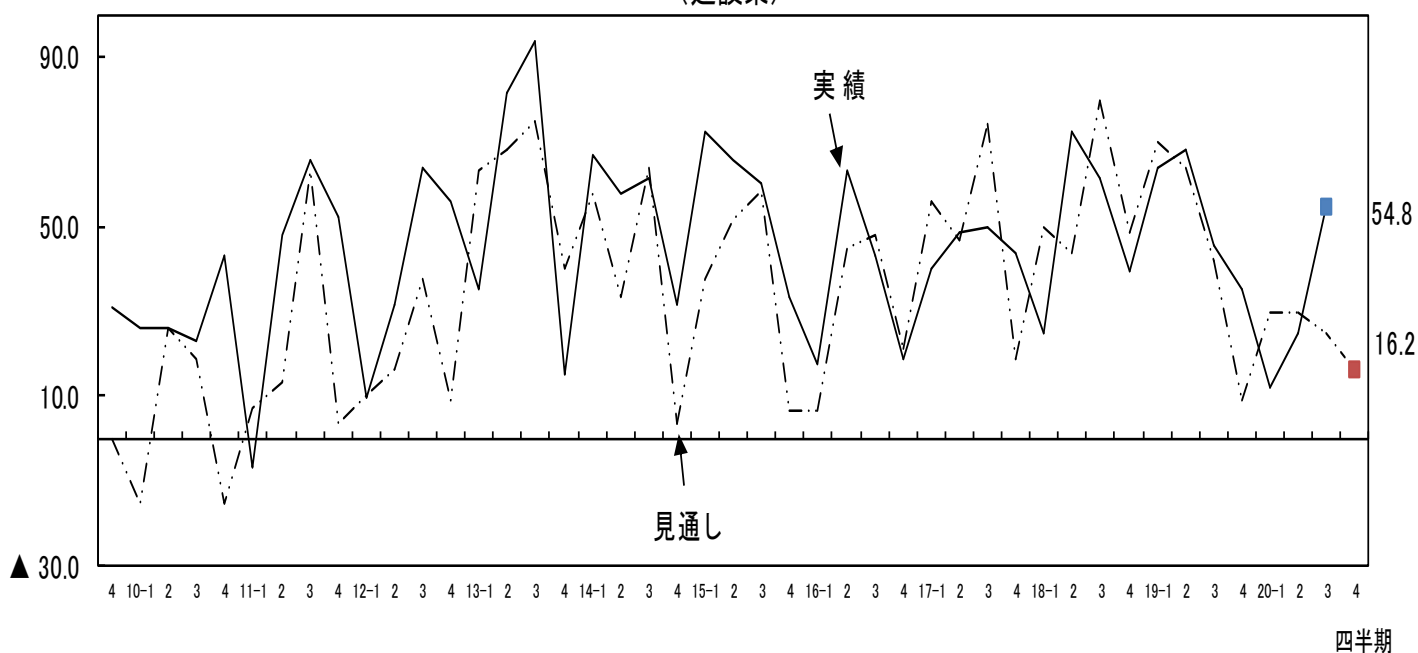
業種	2020年7月～9月(前期)			2020年10月～12月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
製造業	61.2	38.8	22.4	63.6	36.4	27.2	36.4	63.6	▲27.2
卸売業	53.3	46.7	6.6	73.3	26.7	46.6	33.3	66.7	▲33.4
小売業	48.2	51.8	▲3.6	45.8	54.2	▲8.4	37.3	62.7	▲25.4
飲食業	85.7	14.3	71.4	30.8	69.2	▲38.4	15.4	84.6	▲69.2
サービス業	39.1	60.9	▲21.8	73.9	26.1	47.8	43.5	56.5	▲13.0
不動産業	50.0	50.0	0.0	80.0	20.0	60.0	40.0	60.0	▲20.0
農業	25.0	75.0	▲50.0	75.0	25.0	50.0	0.0	100.0	▲100.0
全業種	61.4	38.6	22.8	64.4	35.6	28.8	44.9	55.1	▲10.2

## (2) 受注

建設業（建築工事22先、土木工事13先）の受注高判断D.I.（増加－減少）は、今期54.8と前期25.0に比べ29.8ポイント改善となりました。

来期の見通しは、土木工事では33.4となり、今期50.0に比べ16.6ポイント悪化予想、建築工事では5.2となり、今期57.8に比べ52.6ポイント悪化予想となっています。

受注DI  
(建設業)



### 受注

(%)

業種	2020年7月～9月(前期)			2020年10月～12月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
建設業	62.5	37.5	25.0	77.4	22.6	54.8	58.1	41.9	16.2

### 受注(業種別)

(%)

業種(大別)	2020年7月～9月(前期)			2020年10月～12月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
土木工事	75.0	25.0	50.0	75.0	25.0	50.0	66.7	33.3	33.4
建築工事	55.0	45.0	10.0	78.9	21.1	57.8	52.6	47.4	5.2

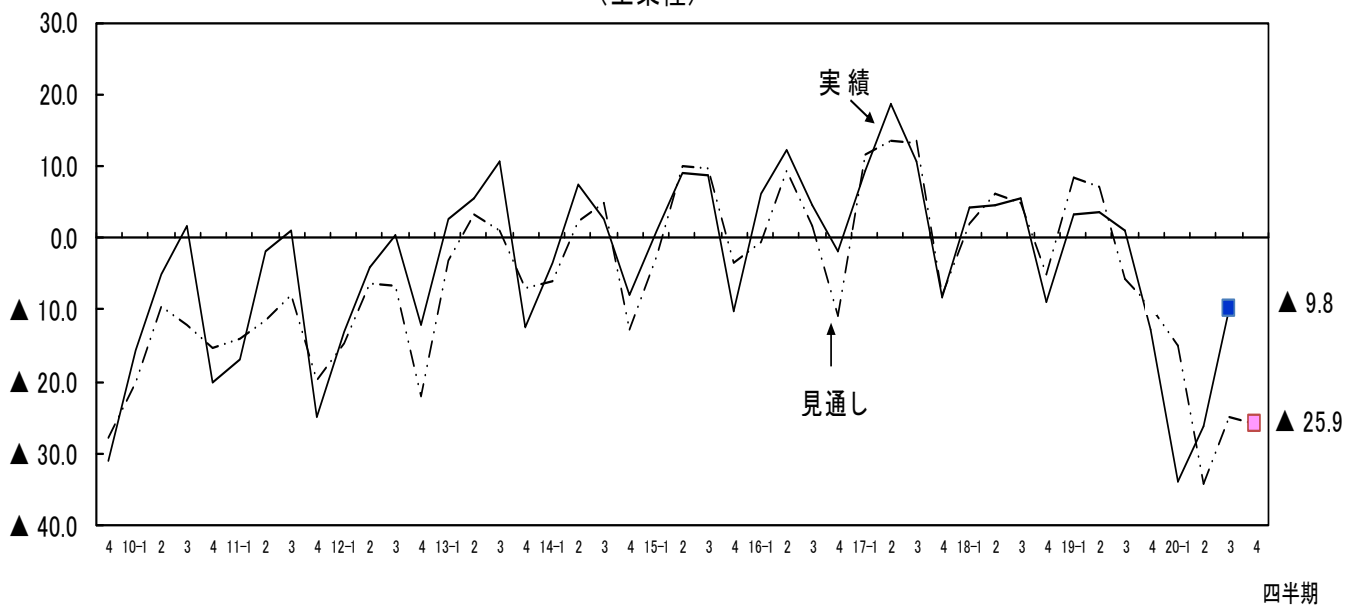
### 3. 採算水準

全業種の採算水準判断D. I. (黒字-赤字) は、今期▲9.8と前期▲26.4に比べ16.6ポイント改善となりました。業種別では、農業、製造業、サービス業、小売業、建設業で改善、卸売業、飲食業で横ばいも、不動産業で悪化となりました。

来期の見通しは、不動産業で横ばい、農業、卸売業、製造業、飲食業、建設業、サービス業、小売業で悪化予想となっています。

全業種の予想採算水準判断D. I. は▲25.9で、今期に比べ16.1ポイント悪化予想となっています。

採算水準DI  
(全業種)



採算水準

(%)

業種	2020年7月～9月(前期)				2020年10月～12月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	黒字	収支トントン	赤字	D I	黒字	収支トントン	赤字	D I	黒字	収支トントン	赤字	D I
製造業	18.4	32.7	49.0	▲30.6	29.1	43.6	27.3	1.8	20.0	38.2	41.8	▲21.8
卸売業	20.0	26.7	53.3	▲33.3	20.0	26.7	53.3	▲33.3	6.7	26.7	66.7	▲60.0
小売業	14.3	41.1	44.6	▲30.3	15.3	50.8	33.9	▲18.6	15.3	44.1	40.7	▲25.4
飲食業	7.1	50.0	42.9	▲35.8	15.4	30.8	53.8	▲38.4	0.0	38.5	61.5	▲61.5
サービス業	17.4	30.4	52.2	▲34.8	26.1	39.1	34.8	▲8.7	26.1	30.4	43.5	▲17.4
建設業	28.1	46.9	25.0	3.1	29.0	54.8	16.1	12.9	16.1	64.5	19.4	▲3.3
不動産業	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	80.0	20.0	▲20.0	0.0	80.0	20.0	▲20.0
農業	0.0	25.0	75.0	▲75.0	25.0	25.0	50.0	▲25.0	0.0	25.0	75.0	▲75.0
全業種	17.8	38.1	44.2	▲26.4	22.4	45.4	32.2	▲9.8	15.6	42.9	41.5	▲25.9

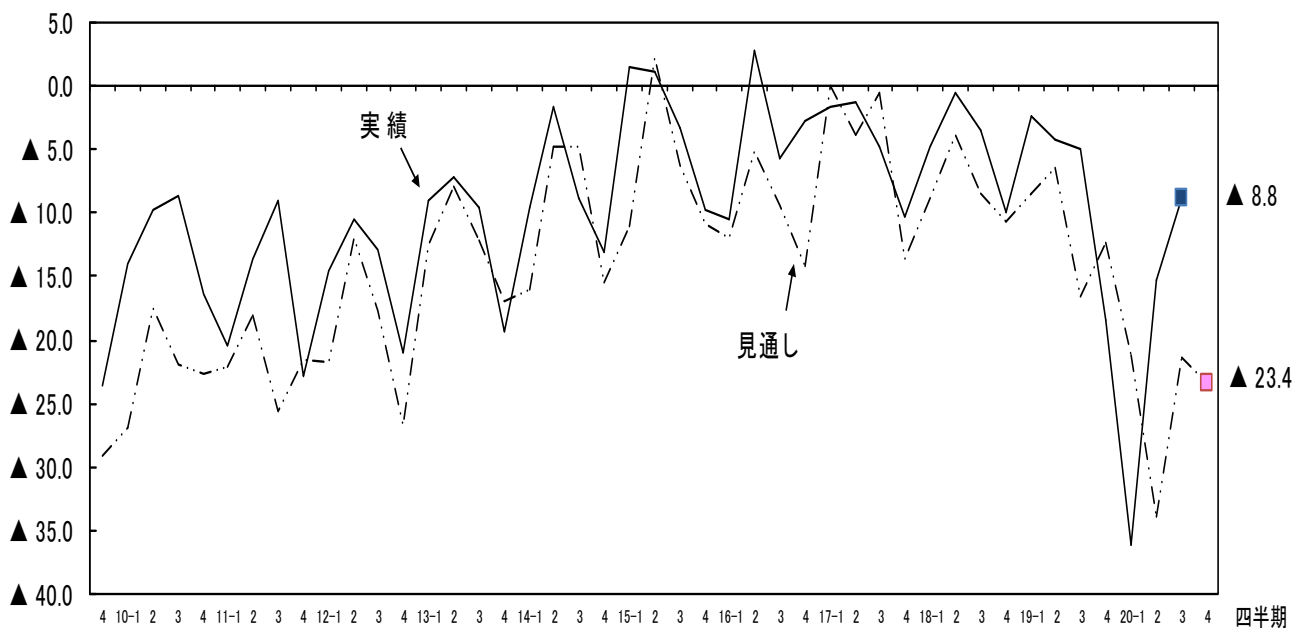
## 4. 資金繰り

全業種の資金繰り判断D.I.（好転－悪化）は、今期▲8.8と前期▲15.3に比べ6.5ポイント改善となりました。業種別では農業、不動産業、サービス業、製造業、小売業で改善、建設業、卸売業で横ばいも、飲食業で悪化となりました。

来期の見通しは、卸売業で横ばい、農業、製造業、飲食業、不動産業、サービス業、小売業、建設業で悪化予想となっています。

全業種の予想資金繰り判断D.I.は▲23.4と今期に比べ14.6ポイント悪化予想となっています。

資金繰りDI  
(全業種)



### 資金繰り

(%)

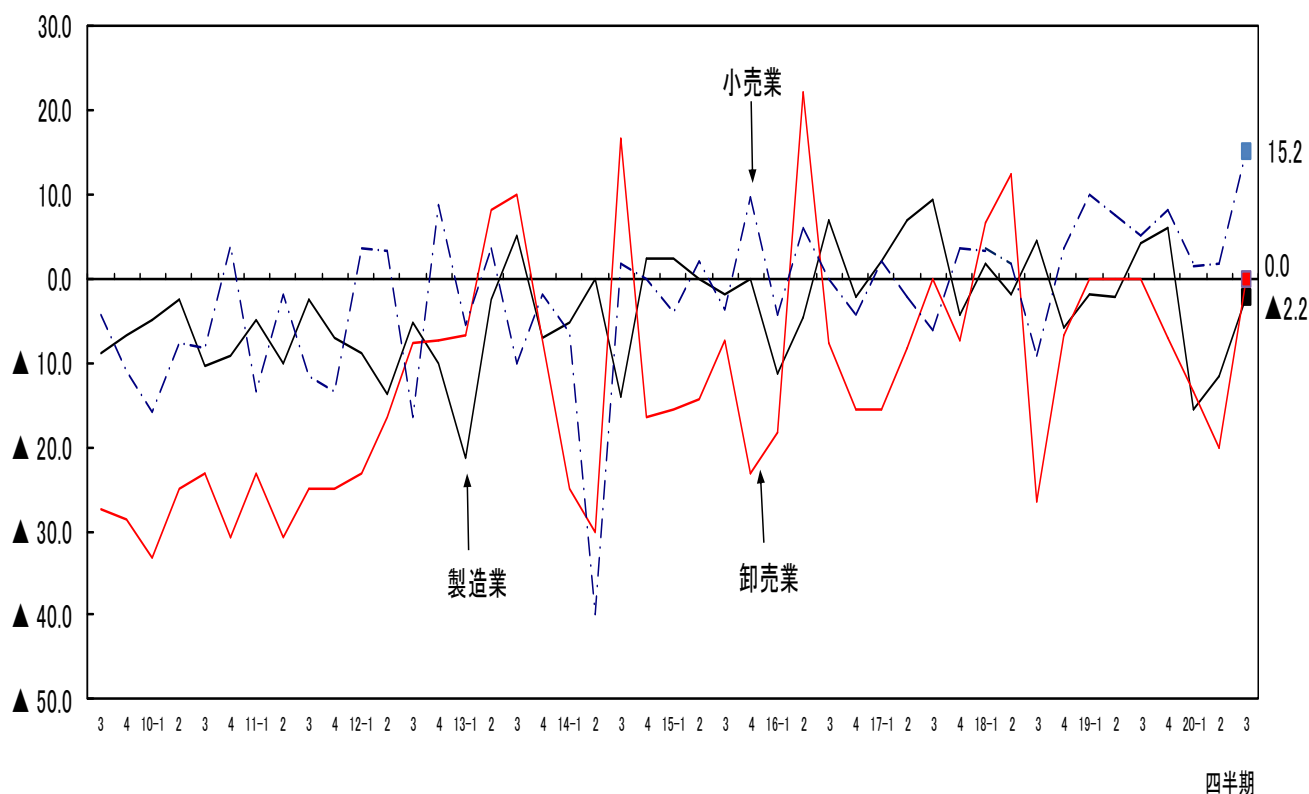
業種	2020年7月～9月(前期)				2020年10月～12月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I
製造業	12.2	67.3	20.4	▲8.2	14.5	76.4	9.1	5.4	5.5	70.9	23.6	▲18.1
卸売業	6.7	73.3	20.0	▲13.3	6.7	73.3	20.0	▲13.3	6.7	73.3	20.0	▲13.3
小売業	5.4	66.1	28.6	▲23.2	5.1	74.6	20.3	▲15.2	1.7	72.9	25.4	▲23.7
飲食業	21.4	64.3	14.3	7.1	0.0	53.8	46.2	▲46.2	0.0	30.8	69.2	▲69.2
サービス業	8.7	56.5	34.8	▲26.1	4.3	82.6	13.0	▲8.7	0.0	73.9	26.1	▲26.1
建設業	9.4	71.9	18.8	▲9.4	6.5	80.6	12.9	▲6.4	6.5	74.2	19.4	▲12.9
不動産業	0.0	75.0	25.0	▲25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	▲20.0
農業	0.0	50.0	50.0	▲50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0
全業種	9.1	66.5	24.4	▲15.3	7.8	75.6	16.6	▲8.8	3.4	69.8	26.8	▲23.4

## 5. 製品(商品)在庫

製品(商品)在庫判断D.I.(不足-過大)は、製造業で▲2.2と前期比9.5ポイント増加、卸売業で0.0と前期比20.0ポイント増加、小売業で15.2と前期比13.3ポイント増加となりました。

製造業では適正感が増加し過大感と不足感が減少、卸売業では不足感と適正感が増加し過大感が減少、小売業では不足感が増加し過大感が減少しました。

製品(商品)在庫D I



製品(商品)在庫

(%)

業種	2020年7月～9月(前期)				2020年10月～12月(今期)			
	不足	適正	過大	D I	不足	適正	過大	D I
製造業	11.6	65.1	23.3	▲11.7	6.5	84.8	8.7	▲2.2
卸売業	13.3	53.3	33.3	▲20.0	20.0	60.0	20.0	0.0
小売業	16.4	69.1	14.5	1.9	23.7	67.8	8.5	15.2



## 6. 設備投資

設備投資は今期「行った」とする割合は25.9%と前期から1.5ポイント減少しました。

今期の投資目的としては「機械・設備の新・増設」が21件と最も多く、「機械・設備の更改」が11件、次いで「車両」が10件、「事業用土地・建物」が5件、「事務機器」が3件の順となっています。

来期に設備投資を「行う」とする割合は14.1%と今期に比べ11.8ポイント減少しています。

### 設備投資

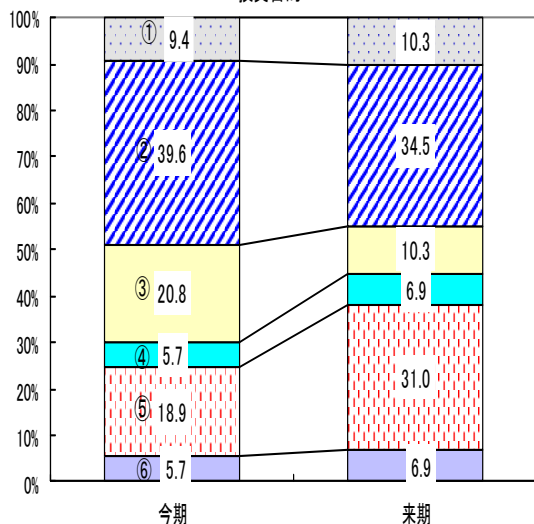
(%)

業種	2020年7月～9月(前期)		2020年10月～12月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	行った	行わなかった	行った	行わなかった	行う	行わない
製造業	24.5	75.5	25.5	74.5	10.9	89.1
卸売業	26.7	73.3	6.7	93.3	6.7	93.3
小売業	19.6	80.4	23.7	76.3	8.5	91.5
飲食業	14.3	85.7	0.0	100.0	23.1	76.9
サービス業	39.1	60.9	39.1	60.9	30.4	69.6
建設業	46.9	53.1	35.5	64.5	19.4	80.6
不動産業	0.0	100.0	20.0	80.0	0.0	100.0
農業	25.0	75.0	75.0	25.0	25.0	75.0
全業種	27.4	72.6	25.9	74.1	14.1	85.9

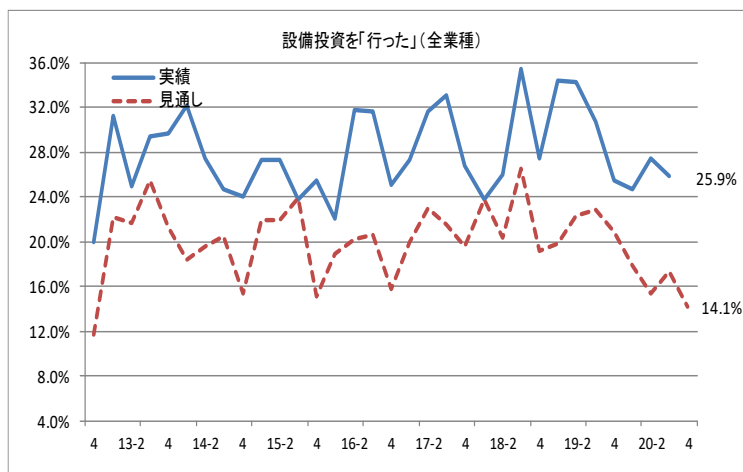
### 投資目的

区分	2020年10月～12月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	件数	割合	件数	割合
① 事業用土地・建物	5	9.4	3	10.3
② 機械・設備の新・増設	21	39.6	10	34.5
③ 機械・設備の更改	11	20.8	3	10.3
④ 事務機器	3	5.7	2	6.9
⑤ 車両	10	18.9	9	31.0
⑥ その他	3	5.7	2	6.9
合計	53	100.0	29	100.0

### 投資目的



### 設備投資を「行った」(全業種)





## 7. 経営上の問題点

経営上の問題点として、「売上の停滞・減少」を指摘する回答割合が55.1%と最も多く、次に「人手不足」が15.1%、「利幅縮小」が13.7%、「特に問題なし」が5.4%、「設備の狭小・老朽化」が3.4%と続いています。

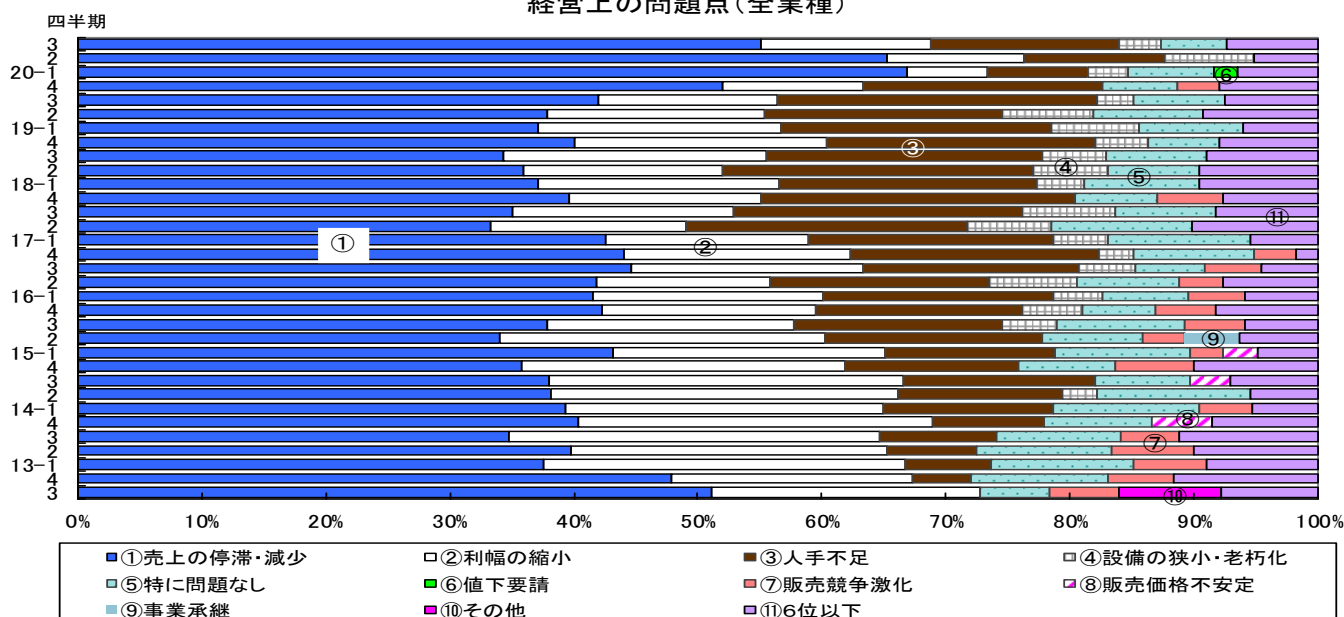
内容としては、1位の「売上の停滞・減少」は前期より8.9ポイント減少、2位の「人手不足」は前期より3.9ポイント増加、3位の「利幅縮小」は前期より3.0ポイント増加となっています。

経営上の問題点

(%)

業種	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	売上減少 58.2	利幅縮小 12.7	人手不足 12.7	設備老朽 9.1	事業承継 3.6
卸売業	売上減少 73.3	問題なし 13.3	人手不足 6.7	競争激化 6.7	
小売業	売上減少 59.3	利幅縮小 15.3	人手不足 11.9	価格不安定 5.1	競争激化 3.4
飲食業	売上減少 69.2	問題なし 15.4	利幅縮小 7.7	人手不足 7.7	
サービス業	売上減少 47.8	人手不足 13.0	問題なし 13.0	利幅縮小 8.7	設備老朽 8.7
建設業	売上減少 32.3	人手不足 32.3	利幅縮小 25.8	事業承継 6.5	問題なし 3.2
不動産業	売上減少 40.0	人手不足 40.0	利幅縮小 20.0		
農業	売上減少 75.0	問題なし 25.0			
全業種	売上減少 55.1	人手不足 15.1	利幅縮小 13.7	問題なし 5.4	設備老朽 3.4

経営上の問題点(全業種)



区分	17-2	3	4	18-1	2	3	4	19-1	2	3	4	20-1	2	3
売上の停滞・減少	33.3	35.1	39.7	37.2	36.0	34.3	40.1	37.2	37.8	42.1	51.9	68.4	64.0	55.1
利幅の縮小	15.8	17.8	15.5	19.3	16.0	21.2	20.3	19.5	17.6	14.4	11.3	6.5	10.7	13.7
人手不足	22.6	23.2	25.3	20.8	25.0	22.2	21.7	21.9	19.2	25.7	19.3	8.4	11.2	15.1
特に問題なし	11.3	8.1	6.7	9.2	7.5	8.1	5.7	8.4	8.8	7.4	6.1	7.0	7.1	5.4
販売価格の不安定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
設備の狭小・老朽化	6.8	7.6	-	3.9	6.0	5.1	4.2	7.0	7.3	3.0	-	3.3	2.0	3.4
販売競争激化	-	-	5.2	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-	-
事業承継	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
値下要請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※「-」は6位以下を示しています。

## 8. 業況の回復時期

業況の回復時期は、「2021年7月～9月」が7.3%と最も多く、次いで「2021年4月～6月」が4.4%、「すでに回復」、「2022年4月以降」が3.4%、「2021年10月～2022年3月」が2.4%の順となっています。

また、「わからない」との回答が77.6%と大半を占めており、依然として景気の先行き不透明感が強い結果となりました。

業況の回復時期

(先、%)

業種	回答企業数	すでに回復	2021年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	2022年 10月～3月	4月以降	わからない
製造業	55	5.5	1.8	1.8	12.7	3.6	1.8	72.7
卸売業	15	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	86.7
小売業	59	1.7	1.7	3.4	8.5	1.7	3.4	79.7
飲食業	13	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	84.6
サービス業	23	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	91.3
建設業	31	9.7	3.2	3.2	6.5	3.2	12.9	61.3
不動産業	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0
農業	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全業種	205	3.4	1.5	4.4	7.3	2.4	3.4	77.6

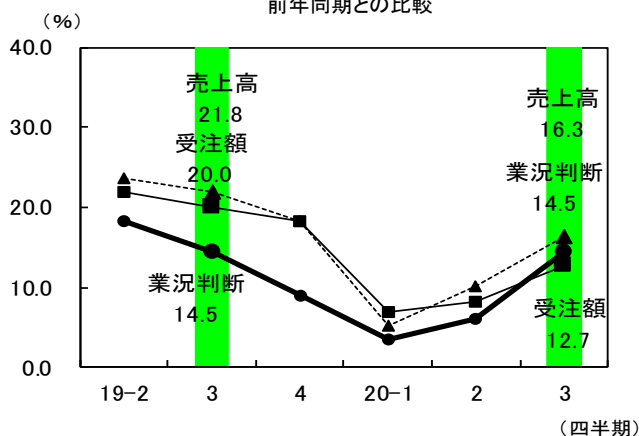
## 補足調査

製造業、小売業について「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期(第3四半期)との比較調査を每期実施しております。

### <製造業>

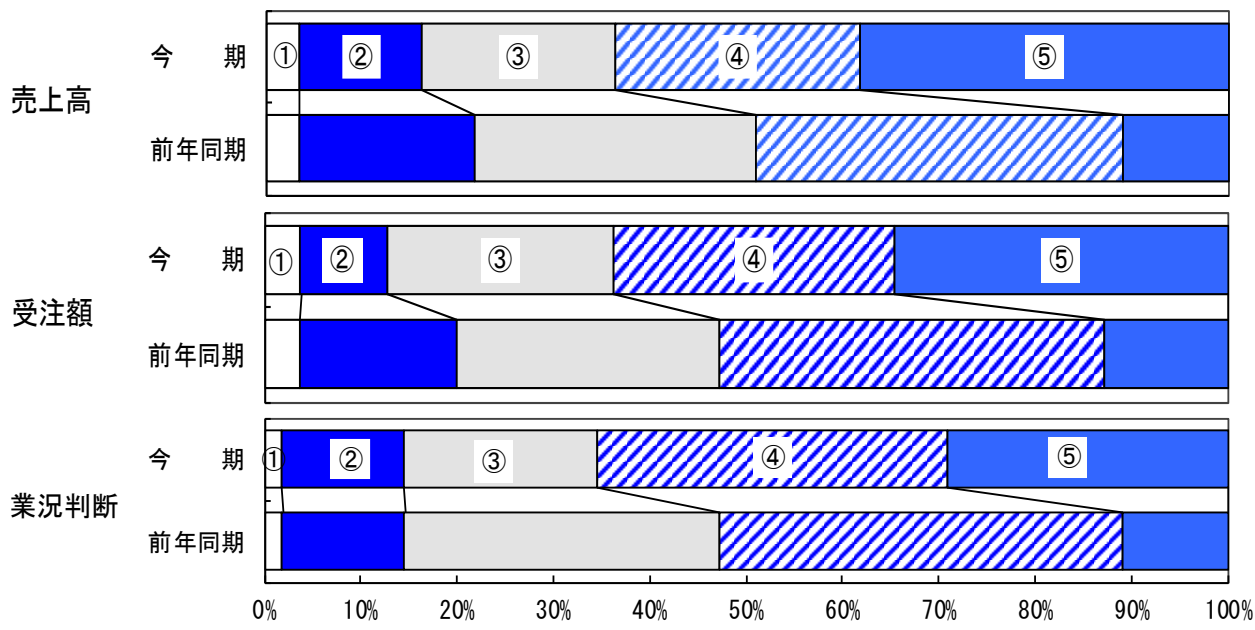
製造業の「売上高」では、前年同期(回答数55先)は“増加”“やや増加”の回答が21.8%だったのに対し、今期(回答数55先)は16.3%と5.5ポイント減少、「受注額」では同様に20.0%だったのに対し、12.7%と7.3ポイント減少となっています。「業況判断」では前年同期は“かなり良い”“やや良い”が14.5%で、今期も同水準となっています。

「売上高」「受注額」の“増加”“やや増加”  
「業況判断」の“かなり良い”“やや良い”  
前年同期との比較



(先、%)

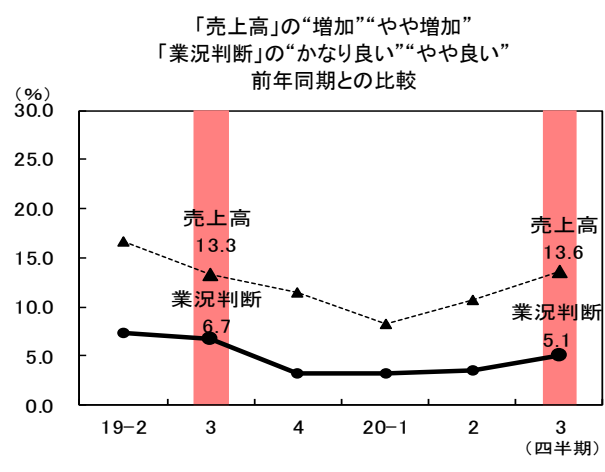
区分	売上高		受注額		区分	業況判断	
	2019年10月～12月	2020年10月～12月	2019年10月～12月	2020年10月～12月		2019年10月～12月	2020年10月～12月
①増加	2	3.6	2	3.6	①かなり良い	1	1.8
②やや増加	10	18.2	7	12.7	②やや良い	7	12.7
③変わらず	16	29.1	11	20.0	③良くも悪くもない	18	32.7
④やや減少	21	38.2	14	25.5	④やや悪い	23	41.8
⑤減少	6	10.9	21	38.2	⑤かなり悪い	6	10.9
合計	55	100.0	55	100.0	合計	55	100.0



<小売業>

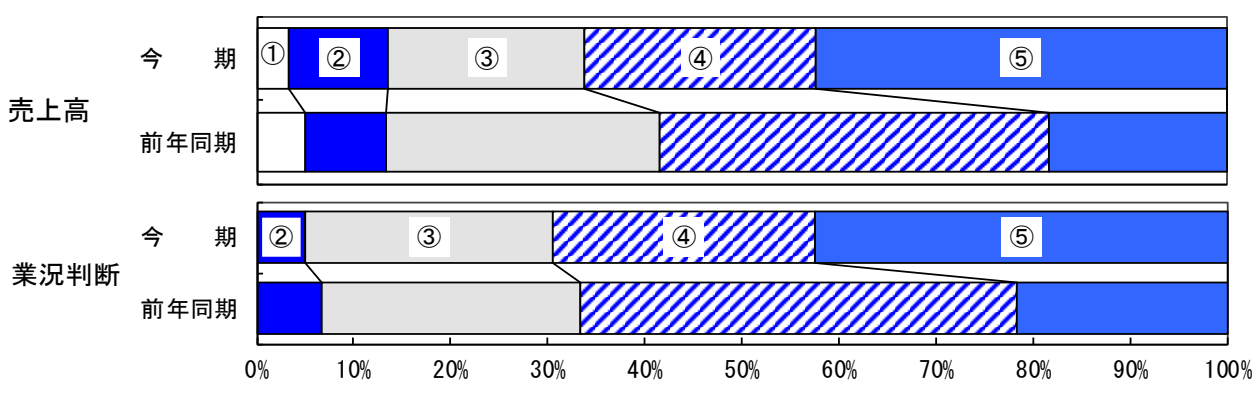
小売業の「売上高」では前年同期（回答数60先）は“増加”“やや増加”の割合が13.3%だったのに対し、今期（回答数59先）は13.6%と0.3ポイント増加となっています。

「業況判断」では前年同期は“かなり良い”“やや良い”の割合が6.7%だったのに対し、今期は5.1%と1.6ポイント悪化しています。



(先、%)

区分	売上高				区分	業況判断			
	2019年10月~12月		2020年10月~12月			2019年10月~12月		2020年10月~12月	
① 増加	3	5.0	2	3.4	① かなり良い	0	0.0	0	0.0
② やや増加	5	8.3	6	10.2	② やや良い	4	6.7	3	5.1
③ 変わらず	17	28.3	12	20.3	③ 良くも悪くもない	16	26.7	15	25.4
④ やや減少	24	40.0	14	23.7	④ やや悪い	27	45.0	16	27.1
⑤ 減少	11	18.3	25	42.4	⑤ かなり悪い	13	21.7	25	42.4
合計	60	100.0	59	100.0	合計	60	100.0	59	100.0



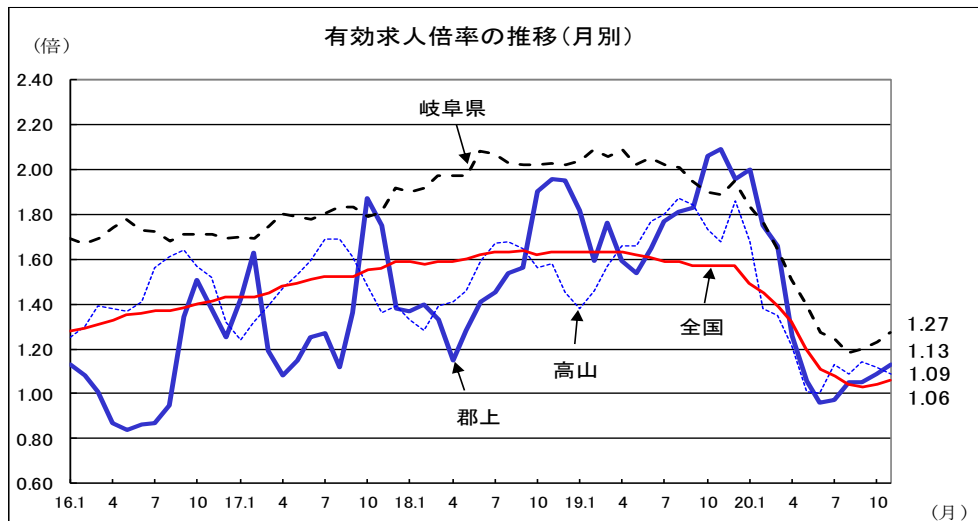
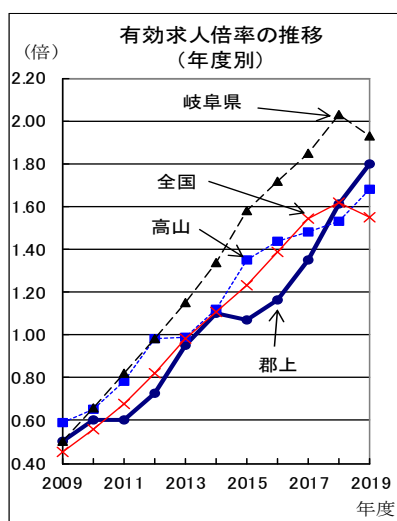
## 有効求人倍率について

関公共職業安定所岐阜八幡出張所(郡上市)、高山公共職業安定所のご協力を得て、有効求人倍率(学卒を除きパートを含む)を掲載いたしております。

岐阜八幡管内の2020年11月の有効求人倍率は、1.13倍で前月比0.04ポイント上昇、前年同月比では0.96ポイント低下となりました。また、新規求人数は、183人で前年同月比115人減少となりました。高山管内の2020年11月の同倍率は1.09倍で前月比0.03ポイント低下、前年同月比で0.59ポイント低下となりました。新規求人数は710人で前年同月比409人減少となりました。

また、全国および岐阜県の2020年11月の有効求人倍率は、全国は前月比0.02ポイント上昇、前年同月比で0.51ポイント低下の1.06倍、岐阜県は前月比で0.04ポイント上昇、前年同月比で0.66ポイント低下の1.27倍となりました。

$$\text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}} \quad (\text{資料提供: 関公共職業安定所岐阜八幡出張所、高山公共職業安定所})$$



### 年度別有効求人倍率

区分	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
郡上	0.50	0.60	0.59	0.73	0.95	1.10	1.07	1.16	1.35	1.61	1.80
高山	0.59	0.66	0.78	0.98	0.99	1.12	1.35	1.44	1.48	1.53	1.68
岐阜県	0.50	0.66	0.82	0.98	1.15	1.34	1.58	1.72	1.85	2.03	1.93
全国	0.45	0.56	0.68	0.82	0.98	1.11	1.23	1.39	1.54	1.62	1.55

### 有効求人倍率

区分	2018.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2019.1	2	3
郡上	1.15	1.28	1.41	1.45	1.54	1.56	1.90	1.96	1.95	1.82	1.59	1.76
高山	1.41	1.46	1.59	1.67	1.68	1.65	1.56	1.58	1.45	1.38	1.46	1.57
岐阜県	1.97	1.97	2.08	2.07	2.03	2.02	2.02	2.03	2.02	2.04	2.09	2.06
全国	1.59	1.60	1.62	1.63	1.63	1.64	1.62	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63

区分	2019.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2020.1	2	3
郡上	1.59	1.54	1.65	1.77	1.81	1.83	2.06	2.09	1.96	2.00	1.75	1.66
高山	1.66	1.66	1.77	1.80	1.87	1.84	1.73	1.68	1.86	1.68	1.38	1.35
岐阜県	2.09	2.02	2.05	2.02	2.01	1.95	1.90	1.93	1.95	1.84	1.76	1.64
全国	1.63	1.62	1.61	1.59	1.59	1.57	1.57	1.57	1.57	1.49	1.45	1.39

区分	2020.4	5	6	7	8	9	10	11
郡上	1.26	1.06	0.96	0.97	1.05	1.05	1.09	1.13
高山	1.21	1.01	1.00	1.13	1.09	1.14	1.12	1.09
岐阜県	1.51	1.40	1.27	1.24	1.18	1.20	1.23	1.27
全国	1.32	1.20	1.11	1.08	1.04	1.03	1.04	1.06